

光明禪寺

第481号

令和四年十月

現在に活きる
仏の教え

誰だって初参加なんだ。人生にプロ
フェッショナルがいるわけがない。全員が
アマチュアで、新人だ。要は勇気
とやる気だ。

「今まで、後悔しないようにと相手を
探していた。だけどあなたと会って、
後悔しても構わないって思おうよう
になった」そう言われるようになるう。

来るものは何でも、必ず去っていく

諸行無常だよ。

あなたの考えが変わった日が、本
当の旅立ちの日だ。

電話 1P
2214127 (2回線)
4345090
79819123
FAX 2413519

(県・市文化財指定安置所)
〒810-0402 指宿市十町南迫田二七六八

十月の行事

一、暁天坐禅会

初一日曜(二日) 朝六時
初四日曜(三日)

一、遠磨大師忌(寺のみ)

五日

一、地藏尊・水子供養

二十四日 二時

・ダルマさんの日に（十月五日）
ダルマさんはどうして牛も足もないの

ダルマさんと聞くと、起きあがり仏法
師の人形を思いうかべますか。ダルマさ
んはもともと人間なのです。インドの
王さまの子どもで、名まえをブーディダ
ルマといい、禅（座ってまごりを聞く教
え）を伝えるために中国へやって来た
お坊さんだったので、インドから
中国へ来たので、こゝばも通じなかつ
たと思います。それにダルマさんは禅
を伝えるために来たのですから、じ
つと坐禅をくみました。九年間も
坐禅をしていたと伝えられています。
仏教では「九」という数は、永久という
意味です。「玖」とも書きます。
坐禅というのは、右足を左のもの上
にあげ、左足を右のもの上にあけて
座り、両手はおなかの下のほうにお
いて、卵型の形をつくりまします。です

かう、坐禅をしている人を見ると手も
足もないように見えるのです。その形を
人形に作ったので、みんなが見るダルマさ
んには、手も足もつけてないのです。ピル
マヤタイヤやカンボジアやスリランカのお坊さ
んは修行しているとき、一枚の袈裟に全身
を包んで顔だけ出します。ほんとにダルマ
さんそっくりなのです。そういう姿でダ
ルマさんは九年も長く座ったので、かまん強
いのです。ダルマさんはかんばりやの代表で
す。だから、かんばってなにかを達成しな
ければならないときには、ダルマさんを飾っ
てお願いごとをするのです。そして願
いかなった時にはダルマさんの目を書い
入れるのです。

・ダルマさんはどうしてかうだがあいの
ダルマさんは、はだかと思いきいますか。着物

を着てると思いきいますか。はだかで赤か
ったトマトやリングと同じですわ。実
はダルマさんは赤い衣を着ているので
す。お釈迦さまが亡くなった後、仏
教は広い範囲に伝えられました。
中央アジア・チベット・中国・モンゴル
韓(国)・日本などに伝えられた仏教を
北伝(北伝)の仏教(大乘仏教)といいます。
こうした国々では、お坊さんの衣は黒
っぽい色のものが多く使われています。
これに対して、インド・スリランカ・ピル
マ・タイなどの仏教を南伝(南伝)の
座部(座部)仏教(上座部仏教)とい
います。これらは、伝統的に赤茶色の衣を着
ます。ダルマさんもインドのお坊さんで
すから、中国に来てそのまま赤っぱ
い衣を着ていたんですわ。その赤い
衣を着ている様子を人形の形に作

リあげましたから。ほとんどのダルマさんは、
赤いのです。

・ダルマさんは七回ころんだのに、どうして
八回起きあがったの

なるほど。なるほど。七回ころんだから八
回起きあがったというのはおかしい。七こ
ろひなら、七起きだーというのですね。

とてもいい質問ですよ。でも、それではあ
たりまえになってしまふのです。ダルマさん
はがんばりやであるということが強調で
きません。ダルマさんは、ころんでも、ころ
んでも、すぐ起きあがります。七回、八回、
九回、十回と、いくらころんでも、すぐ起き
あがります。そのことを強調したくて「七こ
ろひ八起き」といったのです。ですから、
ダルマさんのことを「起きあがり小法師」
ともいうのです。みんなもダルマさんに
負けないうように何回ころんでも「エイッ

と起きあがってください。ころんでも、ころ
んでも起きあがるということをして「七ころひ
八起き」といったのです。

・ダルマさんはどうしてリッパはなひげをは
やしているの

ダルマさんは九年間もの長い間、中
国の崇山まっざんにある小林寺で坐禅をしつづ
けたと伝えられています。そうやって、
おさとりを伝えられたのです。九年の
間、坐禅のことは何も考えないで、
夢中になって坐禅だけしていたので、ひ
げが生えても、頭の毛が伸びてもそ
のままにして坐禅をしつづけたので
す。だから、ダルマさんの顔は、ひ
げぼうぼうなのです。